# 学生の体験談（授業）

（2019年度入学者）

## 基幹教育セミナーを受講して

工学部物質科学工学科
喜安　雄

基幹教育セミナーはとても有意義な時間だったと思う。私は基幹教育セミナーを受ける前まで将来のことを考えたことがなかった。今まで行き当たりばったりで生きてきた私だったが、この基幹教育セミナーを受講したことで今までの自分を顧みることができ、また、将来私がやりたいであろうことを見つけることができた。さらに、他の学部、学科の人と交流することができ、学部でやっていることや、他の人たちの人生プランを知ることができ、毎時間多くの驚きを与えてくれた。パワーポイントでの発表も自分一人ではできることではないので、貴重な時間だった。私自身、一度も経験したことがないことだったので新鮮だった。この経験を今後の人生に生かしていきたい。

# 学生の体験談（授業）

（2019年度入学者）

## 基幹教育セミナーを受講して

共創学部
成安　颯太郎

私は基幹教育セミナーを受講することには大きく2つの意義があると考える。1つ目は自分が大学で何を学びたいのか、将来何に取り組みたいのかを改めて深く考えることができる点。私はやりたいことが見つからないままこの大学に入学した。しかしこの講義で様々な人と交流していくなかで、上記のことを自分の中でまとめ、見つめなおすことができた。2つ目はコミュニケーションスキルを高めることができる点。この講義ではいくつかの学部・学科の学生がランダムに振り分けられるので、同じ講義を受講する学生の大半が初対面の人だ。それゆえ、グループワークなどをするとき、情報共有やディスカッションを通して相手の話に耳を傾ける力、伝えたいことを簡潔に詳しく伝える力を養うことができたと思う。これらが私の考える意義だ。

# 学生の体験談（授業）

（2019年度入学者）

## 基幹教育セミナーを受講して

文学部人文学科
陳　樺逍

私は、基幹セミナーはこれからの大学での学びにはとても有意義な講義だと思う。私がとった英語の講義では、週ごと変わるテーマでリフレクトシートの記入とグループワークを通して、今までの学びを考えながら、これからの大学における学びをプレゼンテーションとエッセイにまとめクラスの皆と話し合った。こうした自分にとっての学びが言語化されたため、今までの経験とこれからのビジョンの間の一貫性が見つかり、大学時代において達成すべき目標とそのためにすべきことも明確になった。また、ライフ・ストーリーを軸にクラスの皆と語り合ったプレゼンテーションで、日本の教育システムで育てられた他の生徒と自分との違いに私ははっきり気づいた。そんな差異――主に社会文化的な――に気づいたこと自体、日本での生活経験の少ない私にはとても大切なことだと思う。いずれにせよ、このセミナーで身につけた「学び」そのものに対する省察意識はこれからもきっと自分を刺激し続けるのだろう。

# 学生の体験談（授業）

（2019年度入学者）

## 課題協学を受講して

医学部保健学科
髙田　彩夏

課題協学は、複数の学部の学生がグループを作り、テーマにそって課題に取り組むという科目です。他教科と違い、自分の意見や調べたことを伝えたり、パワーポイントを作成して発表したりするので、受け身で授業を受けることなく、積極的に参加できます。

関わる機会の少ない他学部の学生と取り組むことにより、最初はお互い初対面で緊張しますが、グループ活動を通じて打ち解けていくので心配ありません。文系の学生、理系の学生で考える視点が異なるので複数の学部の学生が集まっていると、課題に対する意見も様々です。ときにはまとめるのが難しいこともありますが、自分では思いつかないような考えを知ることができ、有意義な時間になることと思います。

# 学生の体験談（寮生活）

（2019年度入学者）

## 寮生活体験談

大学院人間環境学府行動システム専攻健康行動学コース　研究生
程　翹楚

皆さん、こんにちは。2019年9月に九州大学に来て、協奏館の一人部屋に住んでいます。協奏館はドミトリー123より少し大学から離れており、徒歩では15分かかります。冷蔵庫、IHクッキングヒーター、電子レンジ、浴槽など、部屋の設備は充実しています。各階に共有の談話室があり、会話をしたりテレビを観たりすることができます。定期的にCoffee Hourも開催され、居住者が交流できる機会も提供されています。個人的なスペースも確保できますし、お隣さんもいて寂しくないですよ。協奏館のいいところだと思います。ただ寮の周りにスーパー等の買い物できる場所がなく、スーパーに行くたびにたくさん買い物をして帰るので、自転車など乗り物があった方が良いかもしれません。以上が私の体験です。皆さんの役に立つことを願います。